

# 第4回 日本語コミュニケーション 研究会

日時：2月21日(金)

9:00-19:00

場所：筑波大学  
筑波キャンパス  
1C306教室

連絡先  
小野正樹(人文社会系)  
学内(3993)  
ono.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp

プログラム：

9:30-10:00 嶋田みのり(創価大学助教)「Eメールの「誘い」場面における談話構造と表現形式」

10:00-10:30 リナ・アリ(筑波大学大学院生)「エジプト人と日本人の断り談話における「断り」について—談話開始及び談話終了を中心に—」

10:30-11:00 市川真未(創価大学大学院生)「談話における「ほめ」が果たす役割について」

11:15-11:45 スワンナケート パッチャラーパン「LINE上の初級日本語学習者と日本語母語話者間の会話分析—リペアを中心に—」

11:45-12:15 ショリナ・ダリヤグル(カザフ国立大学)「カザフスタンの日本語教育における学習者の自律性を重視した教師の役割」

(休憩)

2:00-2:30 櫻井和美(創価大学大学院生)「独話的発話を用いた発話意図の表示の研究—配慮表現の観点から—」

2:30-3:00 牧原功(群馬大学)「助言における配慮表現—母語話者と非母語話者を比較して—」

3:15-3:45 小野正樹(筑波大学)「言い換えのコミュニケーション」

3:45-4:15 李奇楠(北京大学)「訴える」発話機能について」

4:30-5:00 朱炫姝(筑波大学大学院生)「動詞「教える」と共起する授受表現について」

5:00-5:30 山岡政紀(創価大学教授)「現代日本語配慮表現の記述方法の確立に向けて—配慮表現データベース構築の基礎論として—」

総括